

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	工業英語 I	
科目基礎情報						
科目番号	0044		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械電気工学科		対象学年	3		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	Science explorer, Seibido (2019), 配布プリント, 動画など					
担当教員	飛車 来人, 三浦 靖一郎					
到達目標						
英語で書かれた科学技術に関するコンテンツの意味を理解することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
	難しい科学技術に関する英語コンテンツの意味を理解することができる。		一般的な科学技術に関する英語コンテンツの意味を理解することができる。		一般的な科学技術に関する英語コンテンツの意味を理解することが困難である。	
学科の到達目標項目との関係						
到達目標 A 2						
教育方法等						
概要	科学技術に関する英語コンテンツを題材に、英語を理解し表現する力を養う。具体的には、英文の構造を理解し、意味を掴み、自ら英文を組み立てる力を養う。					
授業の進め方・方法	授業は基本的に日本語と英語で行う。また、授業では教科書や動画のコンテンツを使用し、その内容について課題を出題し、その解答・解説などを行う。定期試験は英語で出題する。					
注意点	定期試験1回の成績を50%、講義毎の英語動画課題の総点を50%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。					
授業計画						
後期	3rdQ	週	授業内容	週ごとの到達目標		
		1週	ガイダンス	授業の進め方、課題のやり方などについて理解する。		
		2週	文法の基礎	科学技術に関する英文でよく使われる文型について理解する。		
		3週	<生物の話>1	<生物の話> Unit 1 - Unit 4のうち1 Unitを取り上げ、英文の構造を理解し、意味を掴み、自ら英文を組み立てる力を養う。		
		4週	<生物の話>2	<生物の話> Unit 1 - Unit 4のうち1 Unitを取り上げ、英文の構造を理解し、意味を掴み、自ら英文を組み立てる力を養う。		
		5週	<健康の話>1	<健康の話> Unit 5 - Unit 8のうち1 Unitを取り上げ、英文の構造を理解し、意味を掴み、自ら英文を組み立てる力を養う。		
		6週	<健康の話>2	<健康の話> Unit 5 - Unit 8のうち1 Unitを取り上げ、英文の構造を理解し、意味を掴み、自ら英文を組み立てる力を養う。		
		7週	後期中間試験	第1週から第6週までの範囲において、主に、T/F Questions, Grammar Check, Writing Expressionsについて理解度を問う。		
	8週	<技術の話>1	<技術の話> Unit 9 - Unit 12のうち1 Unitを取り上げ、英文の構造を理解し、意味を掴み、自ら英文を組み立てる力を養う。			
	9週	<技術の話>2	<技術の話> Unit 9 - Unit 12のうち1 Unitを取り上げ、英文の構造を理解し、意味を掴み、自ら英文を組み立てる力を養う。			
	4thQ	10週	<宇宙の話>1	<宇宙の話> Unit 13 - Unit 16のうち1 Unitを取り上げ、英文の構造を理解し、意味を掴み、自ら英文を組み立てる力を養う。		
		11週	<宇宙の話>2	<宇宙の話> Unit 13 - Unit 16のうち1 Unitを取り上げ、英文の構造を理解し、意味を掴み、自ら英文を組み立てる力を養う。		
		12週	<数字の話>1	<数字の話> Unit 17 - Unit 20のうち1 Unitを取り上げ、英文の構造を理解し、意味を掴み、自ら英文を組み立てる力を養う。		
		13週	<数字の話>2	<数字の話> Unit 17 - Unit 20のうち1 Unitを取り上げ、英文の構造を理解し、意味を掴み、自ら英文を組み立てる力を養う。		
		14週	英語動画	指定された英語動画を閲覧し、内容を掴み、英語のリスニング力を養う。		
		15週	まとめ	これまでの講義を振り返り、英文の構造を理解し、意味を掴み、自ら英文を組み立てる力を学生相互で確認する。		
16週		試験、課題の確認				
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	

			<p>中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。</p> <p>3</p>		
			<p>中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。</p> <p>3</p>		
		英語運用能力の基礎固め	<p>日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。</p> <p>3</p>		
			<p>日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。</p> <p>3</p>		
			<p>説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。</p> <p>3</p>		
			<p>平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>3</p>		
			<p>日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。</p> <p>3</p>		
			<p>母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。</p> <p>3</p>		
			<p>実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。</p> <p>3</p>		
		英語運用能力向上のための学習	<p>自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。</p> <p>3</p>		
			<p>英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。</p> <p>3</p>		
			<p>英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。</p> <p>3</p>		
			<p>母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。</p> <p>3</p>		
			<p>関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。</p> <p>3</p>		
			<p>関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。</p> <p>3</p>		
			<p>関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>3</p>		
			<p>英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。</p> <p>3</p>		
			<p>実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。</p> <p>3</p>		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	単語試験	合計
総合評価割合	50	0	0	0	50	0	100
理解度・表現度	50	0	0	0	50	0	100
	0	0	0	0	0	0	0